

# 危険な生き物

参考サイト: <http://outdoor.ymnext.com/kikenn-16.html> 他

危険な生き物といえば、最近では外来種ヒアリの報道をよく耳にしますが、ヒアリだけではなく身の回りには他にも存在します。

子どもたちは夏休みに入り、薄着で遊びに行く機会も多くなる時期です。身近に潜む生き物も多いので十分に注意して楽しい夏を過ごしましょう。

### ●ムカデ

元々広く野山などに住んでいますが、山林を切り拓いて造成した住宅などには夏場にゴキブリなどを狙い侵入することが多く見られます。更に近年は家屋の密閉化が進んだほか、一度侵入すると暖かいことも手伝い、そのまま通年潜んでいることがあります。

夜行性のため就寝中の他、布団や靴の中など暗いところに潜んでいて咬まれる被害も多く報告されているので要注意です。



### ●スズメバチ

毎年数多くの被害者を出しているハチ類。

中でもスズメバチ類による被害は群を抜いています。

本来は木の根元や朽木に巣を作りますが、最近は家の軒先や床下などに巨大な巣を作ることが多くなり、気づかず近づいた人間が刺されることが急増しています。

一度刺されたことで二度目以降にアナフィラキシーショックを起こし、深刻な事態に陥ることもあるので要注意です。



### ●セアカゴケグモ

セアカゴケグモは1995年に大阪府で初めて確認されたオーストラリア原産の外来種で、20年ばかりの間に生息域は42都道府県に広がりました。

咬まれると全身に痛みや発疹、発熱などの症状が見られます。

全身が光沢のある黒色で、胴体に当たる胸腹部の背中側にひし形を縦に二つ並べたような真っ赤な模様が特徴なので、見分け方は比較的容易です。

### ●ニホンマムシ

非常に強い毒を持つ蛇で、毎年多数の方が咬まれ深刻な事態の報告もあります。基本的には大人しい蛇ですが、誤って踏んだことで反射的に咬まれたり、農作業中に咬まれるなどの被害が多く見られます。

咬まれると咬まれた箇所を中心に大きく腫れ上がり、少ないながら出血作用があります。同時に血小板が減少して凝固作用がなくなるため血が止まらなくなります。重篤化すると発熱、筋肉の溶解、腎不全と進行します。



### ●カツオノエボシ

海水浴や磯遊びでは最も注意したい生き物の一つです。

刺された時の痛さと衝撃は「電気クラゲ」の名に相応しいものです。自ら刺す事はありませんが、物理的な刺激に対して反射的に刺します。

触手の長さは10~50メートルにもなり、風向きや潮の流れによっては離れていても刺されることがあります。

刺された場合は患部を海水で洗い流し、残った触手を取り除き（真水や酢では浸透圧の関係で毒液がさらに染み込みやすくなります）、すぐに医療機関を受診することが大切です。

